

ふるさとの地名編

下土田 極楽

中根長者が戦火から逃れた地

かすみがうら市中央部に「下土田」があります。「下土田」は、「弘安大田文」という古文書に「土田一丁一段三百歩」と登場し、その地名が鎌倉時代までさかのぼることが分かります。その後、戦国時代には常陸国統一を目指す佐竹氏の支配地を経て、江戸時代には水戸街道筋に属する「下土田村」として志筑本堂氏領となりました。

「下土田」には小字名で「極楽」という地名があります。ここには伝説があります。時代は戦国時代、下土田地区周辺を支配していた中根長者が佐竹氏によって滅ぼされた際に、その一族や家臣などが逃げ込み、難を逃れた場所が「極楽」の地と伝えられています。

現在のデータ

下土田は、旧新治村に属し、現在は住所大字として使用されている。明治時代、梨の栽培の中心地だった。



に所在するといわれます。つまりこの世（現世）ではなく、あの世（来世）の世界です。こうした「極楽」の意味合いから中根長者の「極楽」地名伝説も、単なる戦乱の避難場所というよりは、戦死した方々の避難場所、想像をたくましくするならば埋葬地とも考えられます。

古く日本の墓制は、埋葬は集落から離れた場所、詣墓は集落内のお堂や寺院などといった両墓制が一般的でした。下土田集落西側の離れた場所にある「極楽」の地は、平坦で穏やかな環境であるために、まさに来世の安楽の地に相応しい印象を受けます。



下土田往西寺の中根長者屋敷堀跡



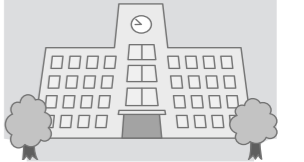
玄関前で元気にあいさつ運動を展開

学校の押し

しもいなよし 下稲吉中学校

—あいさつ運動—

所在地 下稲吉 2273-2
校長 今泉 準一
生徒数 604 人
開校 昭和 56 年千代田中から分離・創立



本校では、今年度、特に力を入れている活動の一つにあいさつ運動があります。毎朝昇降口で担任以外の先生が、教室で担任の先生が、生徒を出迎え、あいさつを交わします。さらに通学路や正門前では昨年度から始まった学校支援地域本部事業による地域のボランティアの方々があいさつを交わしてくれます。

1 学期中旬になり、生徒の中から自発的に、朝、昇降口に立ってあいさつ運動に参加する生徒が増えてきました。はじめはあいさつを返せなかった生徒も小さな声で返せるようになり、はじめからできていた生徒は笑顔が加わるようになっていきます。今後、あいさつの大切さ、人と人が関わることの大切さを教師も生徒も学んでいきたいと思います。

★★文化協会加盟団体紹介！★★

★★文化協会加盟団体紹介！★★

湖墨会 (コボクカイ)

久保田保久先生の公民館講座終了後、霞ヶ浦と水墨画にちなんだ湖墨会の名称で結成し、当初は久保田先生、その後を引き継いだ大住洋子先生の指導のもと、あじさい館で月 1 回活動しています。

9月6日まで、あじさい館ホールで会員の作品を展示しておりますので、ぜひご覧ください！

東洋のマジック「水墨画」に興味のある方は、ぜひ、ご連絡ください。

◆福田馨 ☎ 029-898-2612



★★体育協会加盟団体紹介！★★

市ゲートボール連合会

この会は、ゲートボールを通して相互の親睦と会員が明朗に心豊かな生活を保持することを目的として競技を楽しんでいます。

あじさい館コミュニティ広場で毎週水・金・日曜日、稲吉ふれあい公園内で火・木・土曜日のいずれも午前中に練習をしています。年会費は4千円（共済保険含）。入・退会は自由。経験者・初心者の方大歓迎です。

入会は随時お受けしています。練習場に見学にきてボールを打ってみませんか？お待ちしております！

◆スポーツ振興課 ☎ 内線 3014



文芸ひろば

俳句

夏蝶のもつれて白き風を生み
二日見ぬ胡瓜お化けに変身す
雲の峰沖より帰る船
夏雲や音なく浮かぶ飛行船
青嵐右に左に踊りけり
黙々と一列に行く黄色傘
つばめの巣大きな口のひしめいて
愛犬にせがまれ散歩青嵐
風につれ竹風鈴やのどかなり

小松崎緑 (上志筑)
鳥海力 (下稲吉)
成島利男 (下稲吉)
松村久子 (稲吉東)
大山岩男 (下稲吉)
鈴木きし (深谷)
萩原とし子 (南根本)
松澤よ志の (深谷)
渡辺静江 (稲吉東)

